

ミツマタ
石井三極和紙

三極（ミツマタ）とは…紙の原料となる木です。なんと1万円札にも使われています！
丈夫で味のある三極和紙は、石井ならではの……♪♪



生えている三極（左図）

1. 三極（ミツマタ）を切る。

皮が紙の原料となる。
○囲みが『ミツマタ』



2. 切ってきた三極を蒸す。
(左図のドラム缶)

ドラム缶横のお釜は、下記
5でさらした三極の皮を煮
ているところ。
「灰汁（あく）を取る」



3. 蒸した三極を木と皮に分ける。（皮をむく）



4. 皮の表皮【鬼皮（おにかわ）】を取り除く。

表皮は、黒皮、あま皮、白皮に
分かれている。
白皮を紙に利用



5. 三極の皮を川でさらす。



**6. 表皮を取り除いた
三極の皮を乾燥する。**



**7. 乾燥した皮をもう一度
川でさらしたのちに皮
を石灰で煮る。**



**8. 粉砕機で三極の纖
維を細かくする。**



**9. 乾燥したトロロアオイの根を
写真のように木づちで叩き、
トロロアオイの粘液を抽出。**



**10. 8で粉砕した三極に
水を加え、9で抽出
したトロロアオイ液
を加える。**



**11. 紙を漉いている。
(押し花なども入れ
て独自の紙も…)**



**12. 漉いた三極を板
に張り付け乾燥
させる。**

乾燥できれば出来上がり。

